



中部大学春日丘高校
平成30年度 第2回 運営指導委員会
開催報告

● 運営指導委員会の開催

SGH指定校は外部の方に運営指導委員を委任することが定められています。本校では春日井市の企業、行政機関、教育機関などに運営指導委員をお願いし、取り組みについて報告し助言をいただいています。3月16日(土)に本年度第2回目の運営指導委員会を行いました。

◆ 日時

3月16日(土) 11:00~12:30

◆ 場所

中部大学春日丘高等学校会議室及び東会議室

◆ 出席者

SGH運営指導委員 4名

愛知教育大学

戸田 茂 委員

春日井市教育委員会

富澤 達成 委員

木野瀬印刷株式会社

木野瀬 吉孝 委員

CKD株式会社

河口 悟 委員

SGH運営委員

二村校長、太田副校長 ほか11名

◆ 運営指導委員会議事内容

1、学校長ご挨拶

二村校長より日頃のお礼及び、文科省SGH事業終了後の各高校の課題、本校の展望について申し上げます。

2、平成30年度SGH事業報告会のアンケート報告

昨年12月15日(土)に行われたSGH事業報告会(Haruhigaoka Global Meeting 2018)にて来場された方々にご記入いただいたアンケートの結果についてSGH推進部主任の星野よりご報告申し上げます。

3、2019年度SGH事業計画の説明

来年度の事業につき星野よりご説明申し上げます。

4、ご指導及びご助言

事業報告を受け、外部指導委員の皆様よりご助言をいただきました。Haruhigaoka Global Meeting 2018に関するご指摘を主に頂戴しました。

・外国の生徒とともにあれだけの発表ができるスケールの大きさに驚いた。自分は中部大学のアドバイザーも務めているが、あれだけのことができていてる高校との連携を大学は進めていくのが良いと大学側にアドバイスしたいほどである。

(木野瀬委員)

・SDGsは企業でも取り組むべきテーマだが、弊社はどうすれば良いか分からないのが現状。その取り組みを若い生徒たちが当たり前のように行っていることに頼もしさを感じた。(河口委員)

・Global Meeting のアンケートでは春日丘の生徒からの質問が少なかったという指摘があったが、来年度はディベートなどを取り入れてはどうか。(富澤委員)

・Global Meeting のアクションプランは打合せ時間の短い中でよくまとめられていた。限られた時間の中でコミュニケーションを取り一つの形を作っていけるのが良い。(戸田委員)

・Global Meeting において春日丘の生徒からの質問が少なかったことはご指摘の通り。ただ、生徒たちの様子を見てみると休み時間に海外の生徒に積極的に話しかけている者がかなりいた。昔のような、言葉の違いによる壁はなくなりつつあると感じている。(学校長)

・本校生徒にとっては他者の発表を聴き取るのが精一杯でありディベートのような形は難しいのが実情。しかしSGH科目「クリティカルライティング」「イングリッシュプレゼンテーション」などを通して英語による発信力は高まっている。(星野)

5、諸連絡・2年生国際コース発表会のご案内

国際コース2年生が英語にて行っているプレゼンテーションをご覧いただきました。

お忙しいなか、長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございます。いただきましたご助言を元にさらなる活動の充実を目指します。

● 国際コース SGH活動報告会

◆ 日時

3月16日(土) 11:00~12:30

SGHの活動では1年次にグローバル課題についての基礎を学び、その後4領域(国際開発/国際ビジネス/環境・エネルギー/医療・福祉)に分かれて各自が設定したテーマを元に研究を進めていきます。

国際コース2年の生徒たちが、これまで研究してきたテーマについてグループ毎に英語でプレゼンテーションを行いました。



[SGH運営指導委員会]



[国際コース SGH活動報告会]